

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名	イルミネーションフェスタ事業費補助金		部課コード	1517	予算事業科目	010701010151	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	商工観光部	部局長名(2次評価者)	古味 勉	個別事務	全部	010701010151	-		
	担当部署	商工振興課	所属長名(1次評価者)	森田 洋介						
	電話番号	088-823-9375	E-mail	kc-151700@city.kochi.lg.jp						

1 事業の位置付け

予算科目(平成24年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	大綱	04 地産の環	政策基本方針	本市の商業は、現在、年間商品販売額で県全体のおよそ6割を占め、県下の商業の中核を担っていますが、近年の動向を見ると商店数、従業者数、年間商品販売額ともに減少傾向が続いています。県域全体の需要を担う魅力あふれる商業の育成をめざして、中心商店街や近隣商業地など、それぞれの地域の特性を活かした商業の振興を図ります。また、環境の変化に柔軟に対応できるように、事業者の経営力の強化を図るとともに、経営基盤や流通基盤の整備を促進するなど、商業機能の強化に取り組みます。					
款	07 商工費	政策	05 魅力あふれる商業の振興							
項	01 商工費	施策	01 地域特性を生かした商業集積の形成							
目	01 商工総務費	区分	01 中心商店街の活性化							

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市イルミネーションフェスタ事業費補助金交付要綱	
その他(計画、覚書等)	はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プラン	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	イルミネーションフェスタ実行委員会		
意図	どのような状態にしていくのか	歳末から新年にかけ、中心街にイルミネーションを装飾することにより、街に潤いと活気を促し、商店街の活性化ならびに観光振興を図る。		
手段	事業実施体制等	補助金の支出	事業開始年度	平成7年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	イルミネーションフェスタ実行委員会が実施するイルミネーション事業に対して、事業費の一部を補助する。(補助率2分の1、予算の範囲内で市長が必要と認める額)		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	観光客入込み数	東西軸エリア活性化プランにおける指標 H27目標 300万人(H20実績 230万人)	
	B	商店街等の歩行者通行量(休日)	東西軸エリア活性化プランにおける指標 H20実績(5.6万人)以上を維持	
	C	空き店舗率	東西軸エリア活性化プランにおける指標 H20実績(15.3%)以下を維持	

4 事業の実績等

		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄	
成果指標	A 観光客入込み数	目標	H27目標 300万人	H27目標 300万人	H27目標 300万人		
		実績	237万人	327万人	291万人		
	B 商店街等の歩行者通行量(休日)	目標	5.6万人以上	5.6万人以上	5.6万人以上		
		実績	5.4万人	5.8万人	6.6万人		
	C 空き店舗率	目標	15.3%以下	15.3%以下	15.3%以下		
		実績	14.07%	13.39%	15.03%		
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	900	500	1,000	1,000	
		財源内訳	国費(千円)				
			県費(千円)				
			市債(千円)				
			その他(千円)				
			一般財源(千円)	900	500	1,000	1,000
	翌年度への繰越額(千円)						
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	74	72	72	74	
		正規職員(千円)	74	72	72	74	
		その他(千円)					
		人役数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	
		正規職員(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	
		その他(人)					
		総コスト=①+②(千円)	974	572	1,072	1,074	
市民1人当たりコスト(円)		3	2	3			
年度末住民基本台帳人数(人)	339,714	339,130	337,875		総コスト/年度末人口		

## 5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

震災の影響による節電要請を受け、電力消費量の少ないLED電球を使用しているが、今後、更なる節電を求められる場合の対応が課題となる。

## 6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 24 年 8 月 28 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明	
事業実施の 必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	本事業は、民間の有識者検討会における議論を経て、県市合同で策定した「はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プラン」にも登載されている事業である。	
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない				B
事業内容の 有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0		冬の中心街の目玉となるイベントであり、商店街が一丸となって取り組んでおり、活性化につながる集客力のアップ、回遊性の向上に貢献している。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B			
事業実施の 効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	実際の事業は、各商店街からなるイルミネーションフェスタ実行委員会が実施しており、民間活力が主体となっている。 東西軸エリア活性化プランの策定にあわせ、規模を拡大した。また、平成23年度は高知県こうち商業支援事業費補助金の交付を受けている（300万円）。	
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B			
事業実施の 公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	3.0		実施場所が、中央公園を中心とする中心街に限定されるものの、実施期間も長く（11月末から年明けまで）、広く一般の市民が楽しめるものとなっており、一定の公平性は保っている。
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	B			
総合点	14.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

## 7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 14 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	
○ B 経費削減に努め事業継続	商店街の行う冬のイベントとして定着し、まちの魅力向上にも寄与している。はりまや橋公園でのイルミネーションとの連携なども含め、事業内容や財源確保については今後も工夫を重ねたうえで、事業は継続していく。
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

## 8 特記事項

--